

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県超短波無線漁業協同組合 臨時総会開催 -1/27(火)津市、水産会館で-

27日(火)津市水産会館にて、三重県超短波無線漁業協同組合(代表理事組合長:浅井利一)の臨時総会が行われた。

同組合は、志摩市浜島町にある三重県漁業無線局において、沿岸漁業(超短波)、遠洋・近海漁船(短波・中短波)の操業安全と操業の効率化に係る各種の通信業務を行っており、現在、組合員数は1,399人(正組合員:1,093人 准組合員:306人)となっている。近年、携帯電話等の普及によって、船舶局から無線局への通信利用者数が減少する一方、通信機器施設等の老朽化、通信員の高齢化が進み、現状のままの運営が難しい状況となっていた。

このような現状を受け、今回の臨時総会では、同組合の解散と、三重県漁業無線局の閉局について審議された。結果、議案は可決され、3月末をもって、閉局・解散となることが決定した。

浅井代表理事組合長は「東北の震災の時は携帯電話が繋がらなくなったと聞いた。仕方がないことだと思うが、複雑な気持ち。漁業無線は残していけるよう、国にも考えてもらいたい。」と話した。

第9回全国カキサミット開催される -1/24(土)・25(日)、東京で-



↑かき消費拡大イベント



全国カキサミット →

25日(日)、東京秋葉原コンベンションホールにて、全国カキサミットが開催された。全国各地のかき生産者が一堂に会し、生産県共通の課題である品質の向上に向けた取り組みと、生産性の向上、消費・流通対策等、幅広い観点から議論を深め、かき養殖業の持続的発展に寄与することを目的として開催されており、今回で9回目となる。

本サミットには、三重県、宮城県、岩手県、石川県、兵庫県、岡山県、広島県、福岡県、大分県のかき生産者の他、水産庁や全漁連、行政、研究機関等から約150名

が参加した。基調講演では、日本生活協同組合連合会品質保証本部安全事故管理室長の鮫島正明氏が壇上に登り、消費者から見たかき（食品）の品質衛生管理について、近年の食品に関するクレーム等の特徴を説明し、その時どどのように対応していくかの重要性について述べた。また、「品質の管理を含めたかきの流通促進について」をテーマとしたパネルディスカッションでは、鳥羽磯部漁協浦村支所理事の村田孝雄氏も登壇し、三重県におけるかきの安心安全への取り組みについて報告した後、他県のパネラー、流通業界代表らと活発な意見交換を行った。

サミットの最後には、次期開催県（平成 28 年度開催予定）である三重県の永富洋一漁連会長のあいさつが行われ、盛況のうちに閉会した。

また、前日の 24 日（土）には、カキサミットと関連した「カキ消費拡大イベント」が赤坂アークヒルズで開催され、三重、宮城、広島のかき生産者が連帯し、焼き牡蠣 2,200 食を始め、約 5,400 人分のかき料理（牡蠣鍋、牡蠣フライ、牡蠣カレー）を無料で提供。イベントが開始して間もなく、各ブースには長蛇の列ができ、訪れた人々は美味しいかき料理を堪能した。

**平成 26 年度
水産多面的機能発揮対策報告会
-1/23(金)、東京で-**

1/23（金）東京都の有楽町朝日ホールにて、平成 26 年度水産多面的機能発揮対策報告会が行われた。（主催：全漁連）

同報告会冒頭、パルシステム生活協同組

合連合会執行役員・商品開発本部長の渋澤温之氏による特別講演「パルシステムと産直産地の取り組み」が行われ、その後、全国各地から 8 つの活動組織による事例発表とパネルディスカッションが行われた。活動の概要や、今後の活動内容についての発表がなされ、コメンテーターや聴衆から数々の質問が飛び交った。その他にも、ポスター展示が別室で行われ、三重県からは赤須賀漁業協同組合青壮年部研究会の活動が紹介された。

水産多面的機能発揮対策事業も平成 27 年度で最終年度を迎えるが、三重県水産多面的機能発揮対策協議会（事務局：漁連指導部）では、「成果が問われる大切な年。次の事業に繋いでいけるよう、気を引き締めて取り組んでいきたい」としている。

【パネルディスカッション発表プログラム】

輪島の里海を守る会	石川県	藻場の保全
城ヶ島藻場保全活動組織	神奈川県	藻場の保全
湾中地区干潟保全協議会	北海道	干潟の保全
深江ブループロジェクト活動組織	長崎県	干潟の保全
敦賀河川を守る会	福井県	内水面生態系の保全
加茂湖活動組織	新潟県	藻場・ヨシ帯の保全
とびしま漁村文化研究会	山形県	漁村文化の継承
中泊町沿岸訓練実施隊	青森県	海難救助・海洋汚染対策



会場はたくさんの人でほぼ満席に（有楽町朝日ホール）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。